

緊急地震速報について

緊急地震速報は、大きな地震の発生直後に、強い揺れがくることを可能な限り素早くお知らせする情報です。

気象庁では、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを素早く解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）を推定し、最大震度が5弱以上または最大長周期地震動階級が3以上と予想された場合に、震度4以上または長周期地震動階級3以上が予想される地域を対象に緊急地震速報（警報）を発表します。気象庁がこの緊急地震速報（警報）を発表すると、対象となった地域に対してテレビやラジオ、携帯端末、防災行政無線などで緊急地震速報が流れます。ただし、緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、震源に近いところでは緊急地震速報が間に合いません。また、ごく短時間のデータだけを使った速報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。

緊急地震速報を見聞きしたときには、まわりの人に声をかけながら周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保することが基本です。強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかありません。この短い時間でも身を守る行動を取るようにしましょう。

いつ揺れに見舞われても身の安全を確保できるように、日頃から屋内・屋外問わず周囲の状況や避難経路を確認し、地震の大きな揺れに備えましょう。

【安全を確保するための行動例】

- ・家庭では、安全スペースに避難。頭部を保護し丈夫な机の下など安全な場所に避難。
- ・屋外(街)では、看板や割れたガラスの落下、ブロック塀の倒壊等に注意し、丈夫なビルのそばであればビルの中に避難。
- ・エレベーターでは、最寄りの階に停止させて、すぐに降りる。
- ・鉄道やバスなどに乗車中は、つり革や手すりにしっかりつかまる。



問い合わせ先 網走地方気象台（電話：0152-43-4349）



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
「地震情報」はこちらから